

制服から受けた感覚について

潮田 美智子・本郷 美枝**

(昭和62年9月30日受理)

On a Feeling Given by a School Uniform

Michiko SHIOTA and Miye HONGO

(Received September 30, 1987)

はじめに

学校の制服といえば、昔は男子は詰め衿、女子はセーラー服が殆どであったが、そのセーラー服も衿元の形がスッキリしている、やぼったい、などと細かな点をよく批評し合ったり、あそこの学校の制服が着たいから……とあこがれて受験した頃が懐しい。

制服は、その学校の象徴でもある現在、公立の小学校でも、女子はブレザー・スカート、男子はブレザー・ズボンで色は同じという生徒を見かける。中学校、高校でもその学校独特の形、色がそれぞれに定着している。

制服がある、という事は学校全体が平等であり、見た眼にも美しい。家庭としても毎日の通学服について、あまり考えないですむし、学校としても、表面はしつけなどやり易い様な気がする。

然し、よく考えると、一番感受性が富んでいる時に、長い間、同じ様な服を着用することで、色や形に対しても無頓着になったり、制服によっては、夏は暑く、冬は寒むい……ということも考えられる。

ここ4、5年、多くの学校で、制服の色やデザインなどを、その学校独自のものにしだしたのが目立つ。

着易さ、生徒の好み、あるいは生徒減少期に備えてのイメージチェンジであろうか。

好むと好まざるとにかかわらず、定められた制服を着用していて、着るものについて何を考えて過ごしていただろうか、制服を脱いだ時どのような服を身につけるのか、始めは親と一緒に買い物をするにしても、しだいに自分の好みで選定するようになっていられるが、今まで

* 被服構成学実験研究室

**第6被服構成研究室

折にふれ身についた感覚を、どう生かしていくのであろうか……女子の制服について調査したものを報告したい。

調査方法

調査対象

東京家政大学短期大学部学生 155名

調査方法

アンケート用紙を配布し、回答をして貰った。

調査時期

昭和61年7月

調査結果および考察

回収率

152名 98.1%である。

年齢

18才 98人 64.5%, 19才 54人 35.5%である。

居住場所

図1のとおりである。

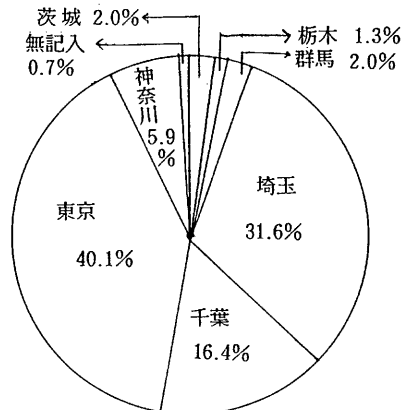


図1 居住場所

各学校の出身都道府県名

表1のとおりである。

表1 各学校の出身都道府県名

	小学校%	中学校%	高校%
青 森	1.3	1.3	1.3
福 島	1.3	1.3	1.3
茨 城	2.6	2.6	2.6
栃 木	5.9	5.9	5.9
群 馬	2.6	2.6	2.6
埼 玉	28.9	28.9	17.7
千 葉	16.4	17.7	18.4
東 京	19.7	20.4	31.6
神 奈 川	6.6	5.9	5.9
山 梨	0.7	0.7	0.7
長 野	5.2	4.6	4.6
石 川	—	0.7	—
静 岡	3.9	3.9	3.9
愛 知	0.7	—	—
兵 庫	0.7	—	—
鳥 取	0.7	0.7	0.7
広 島	0.7	0.7	0.7
山 口	0.7	0.7	0.7
福 岡	0.7	—	—
大 分	0.7	0.7	0.7
宮 崎	—	0.7	—
無 記 入	—	—	0.7

出身校別の公立・私立などの別

小学校では公立が97.9%，私立，0.7%，国立，0.7%，その他が0.7%で，公立が圧倒的に大であった。

中学校に於いては，公立，94.7%，私立，3.9%，国立，0.7%，その他，0.7%であった。

高校では，公立，78.3%，私立，21.0%，無記入，0.7%であった。

制服の有無

表2および図2のとおりであった。

制服についての感想

主なものは以下のとおりであった。

小学校

- ・便利だった。
- ・他の服に気をつかわなくてもよかった。

表2 制服の有無

	小学校 %	中学校 %	高校 %
あ る	6.6	98.7	94.1
な い	93.4	1.3	5.2
無 記 入	—	—	0.7

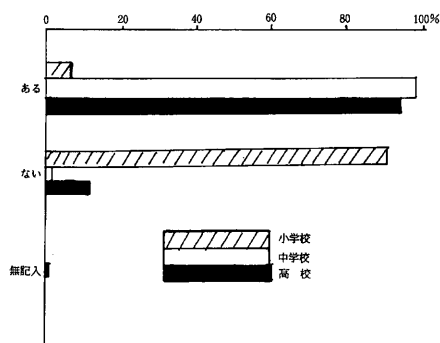


図2 制服の有無

- ・皆が平等でよいと思った。
- ・セーラー服に赤いスカーフのネクタイは，可愛いと評判だった。
- ・上手にネクタイが出来なくて困った。
- ・白いトレーニングシャツとパンツだった。
- ・なにも思わなかった。
- ・すぐに小さくなってしまう。
- ・ない方がよいと思った。

中学校

- ・便利だった。
- ・うれしかった。
- ・好きだった。
- ・気に入っていた。
- ・入学当時，制服を着ると中学生になったのだ！ という感じがした。
- ・セーラー服だったので，可愛らしかった。
- ・デザインが可愛かった。
- ・統一されていてよかった。
- ・制服がある方が，生徒という気分になれてよかった。

制服から受けた感覚について

- 制服にあこがれていた学校に入学できたので、とても嬉しかった。
- 始めて制服が着られて、嬉しかった。
- 各学年でネクタイの色が違っていたので、学年別の区別がハッキリできた。
- 短時間に着られて、らくだと思った。
- 個性がないと思った。
- ジャンパースカートの着ずらかった。
- 夏は暑く、冬は寒むかった。
- ださい、ノ と思った。
- きらいだった。
- セーラー服が着たかった。
- 制服を着るのが、イヤだった。
- 規則がきびしかった。
- もっと、かっこうのよい制服がほしかった。
- イメージが暗かった。
- もっと、生地やデザインのよいものがないと思った。
- 汚れやしわが気になって、活動しにくかった。

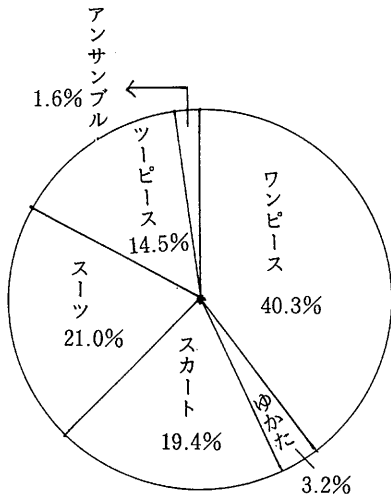
高校

- 高校生、という実感がもてる制服だった。
- セーラー服が着たかった。
- 色がとても好きだった。
- なかなか気にいっていた。
- プレザーの制服で好きだった。
- 冬服と盛夏服が全然違ったので、着替えがたのしみだった。
- 気温によって調節することが出来なくて、不便だと感じていた。
- 夏が暑かった。
- スカートの長さについて、うるさいのがイヤだった。
- 規則がきびしかったのでイヤだった。

今までをみていると、小学校は公立が大部分であるのに制服がきまっている、というところは少なく、逆に中学校、高校では、ほとんどの公立に制服がみられた。中学校、高校に進むにつれ、制服に対する考え方は、

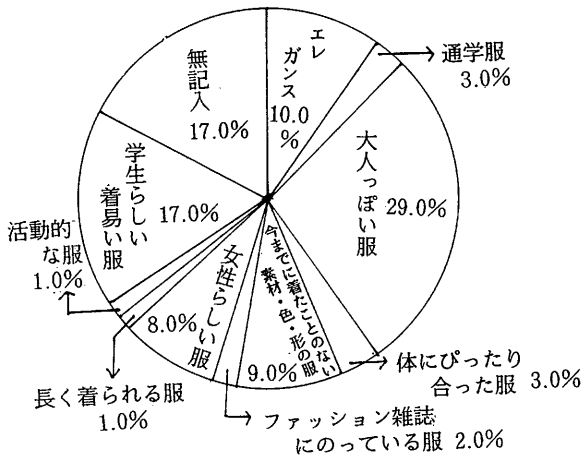
表3 高校卒業後から大学入学直後までに購入した服

種 類	価 格	購 入 場 所
ブ ラ ウ ス	1,000 ~ 12,000	地域的には、 新宿、渋谷、上野、池袋、原宿、板橋、吉祥寺、市川、松戸、柏、浦和、川口、大宮、浦安など。 家の近くのデパートなどでは、主に、 高島屋、西武、伊勢丹、東横、東急、三越、松坂屋、阪急、丸井、SUZUYA、イトーヨーカ堂、パルコ、十字屋など。たまに問屋、洋品店などがあった。(順不同)
カ デ ィ ガ ン	2,900 ~ 10,800	
ス - ツ	5,000 ~ 60,000	
ツ - ピ - ス	5,000 ~ 50,000	
スカート(ジャンパースカートを含む)	1,980 ~ 22,000	
ワ ン ピ - ス	3,900 ~ 40,000	
サ マ - セ - タ -	4,000 ~ 7,900	
ジ ャ ケ ッ ト	2,900 ~ 30,000	
シ ャ ツ	1,500 ~ 12,000	
T シ ャ ツ	1,000 ~ 4,000	
ニ ッ ト ・ シ ャ ツ	4,900 ~ 5,800	
タンクトップ, ランニング	1,000 ~ 4,600	
ズボン, ショートパンツ	2,900 ~ 13,800	
ア ン サ ン ブ ル	2,980 ~ 3,900	
ス リ - ピ - ス	20,000 ~ 30,000	
ブ ル ゾ ン	10,000 ~	
セ - タ -	3,900 ~ 7,000	
ス エ ッ ト 上 下 服	2,900 ~ 6,900	
ト レ - ナ -	1,980 ~ 3,900	
テ ニ ス ・ ウ ェ ア -	15,000 ~	



現実的

図3 大学入学後に興味を持った服



雰囲氣的

図4 大学入学後に興味を持った服

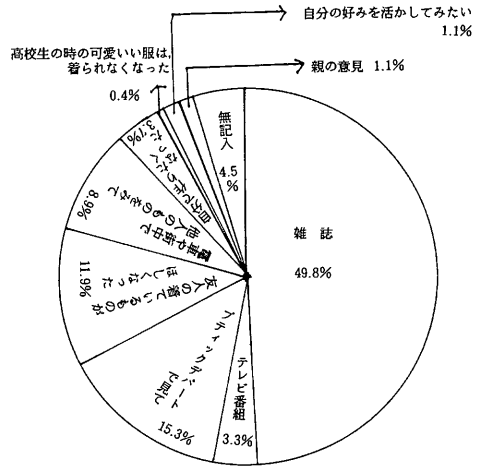


図5 大学入学後の服の購入に影響のあった事柄について

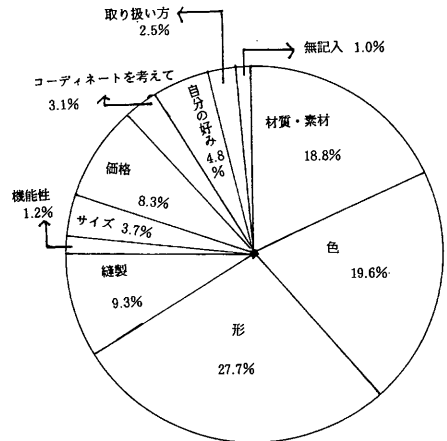


図6 服を購入する時の注意点について

幅広くなってきている。

高校卒業後から大学入学直後までの約1カ月間について服についての調査は次のような結果であった。

高校卒業後から大学入学直後までに購入した服

これについては表3のとおりであった。

大学入学後に興味をもった服

図3、図4のとおりである。

現実的には通学するのにふさわしいものを考えているが、雰囲氣的には今までの制服から、ガラリと変化したものに興味をもつようである。

大学入学後の服の購入に影響のあった事柄について

図5のとおりである。

図5については、雑誌、49.8%と大半を占めているが、この中には、服飾専門誌が数種入っている。雑誌にの

っている自分達年代のモデルの着ているものが、目につくようである。

服を購入する時の注意点について

図6のとおりである。

数多くの本を見たり、友人と語り合う中で、ファッションについてもいろいろと話が出、若いからどうしてもその時の流行は取り入れたい、ということで形、色がその時々のもが多くなるのだと考えられる。又、あまり高価なものよりは数多く持って、今迄ある服との組合わせを考えたり、長く着られるよう縫製についても注意を払っているようである。

おわりに

小学生の頃は、学校で言われたとおり、親の言うまま、あまり多くの事に気をつかわず、無邪気であったが、中学校、高校と上級生になるにつれ、意志がハッキリしてくる。高校を卒業すれば、今迄ほしくても、なかなか

着用出来なかった大人っぽい、ブラウス、カーディガン、スーツ、ツーピースなど、比較的広範囲なものを購入しているものもあった。

女子とファッションは、いつの時代でも切りはなすことはむづかしい。然し、服を購入する時も、それなりに考えて、衝動買いをするということはあまりみられなかった。全体を通してみると、友人と話し合ったり、本を見たり、電車の中、街ゆく人の着用しているものを参考にしながら、自分の意見も入れて選択しているようである。が、経済的に、また何時迄も自分の物ばかり……というわけにゆかず、家人の物も、又、やがて迎えるであろう家族の事も考慮に入れると、それぞれの項目について更に、真げんに思いを至さなければならないと考える。授業の中で、又折りにふれ、雑談をする中でも指導をしてゆきたいと思う。

最後に、この調査にご協力をいただきました学生の皆さまに、厚く御礼を申し上げます。